



2023年3月1日

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社

アウディ ジャパン

プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598106

アウディコミュニケーション センター

新型 Audi Q8 e-tron / Q8 Sportback e-tron を発表

- ・ 電動 SUV / クロスオーバーのトップモデルを示す Q8 をモデル名に付けた Audi Q8 e-tron が登場
- ・ 向上した一充電走行距離と最大 150kW の急速充電対応
- ・ 新しいエクステリアとブランドデザイン、リサイクル素材の積極的な採用
- ・ 3月4日より全国のアウディ e-tron 店にて Audi Q8 e-tron Roadshow を開催、発売は今年夏以降を予定

アウディ ジャパン（本社：東京都品川区、ブランド ディレクター：マティアス シェーパース）は、アウディ初の電気自動車 Audi e-tron / e-tron Sportback を大幅にアップデート。モデル名に電動 SUV / クロスオーバーラインアップの頂点に立つ Q8 を付け、新型 Audi Q8 e-tron / Audi Q8 Sportback e-tron として発表しました。一充電走行距離と急速充電性能を向上させるとともに、フロントとリアのエクステリアデザインを刷新。リサイクル素材を積極的に採用しました。全国のアウディ e-tron 店（110 店舗、現時点）を通じて、本年夏以降に発売予定です。

より向上した一充電走行距離と急速充電性能

今回発表の SUV らしい力強いスタイルの Audi Q8 e-tron とエレガントでスポーティなクーペスタイル SUV の Q8 Sportback e-tron は、アウディ初の電気自動車として、世界全体で約 16 万台を(2022 年末時点)を販売した Audi e-tron / e-tron Sportback の後継モデルです。Audi Q8 e-tron は「50」と「55」、Q8 Sportback e-tron は「55」を設定し、50 e-tron quattro S line は総容量は 95kWh (先代比+24kWh / 正味エネルギー容量は 89kWh) のバッテリーを搭載し、WLTC モードで 424km (先代比+89km) の一充電走行距離を達成しています。一方、55 e-tron quattro S line は、総容量 114kWh (先代比+19kWh / 正味エネルギー容量 106kWh) のより大きなバッテリーを搭載し、WLTC モードで一充電走行距離 501km (先代比+78km) を達成しています。

50 e-tron quattro / 55 e-tron quattro の両モデルともに、バッテリーの総容量に対して使用可能な正味エネルギー容量を増加させ、さらに空力性能やモーターの効率アップすることにより一充電走行距離が向上しています。55 e-tron quattro S line では、従来のバッテリー製造工程で生まれる電極材の隙間をスタッキング方式と呼ばれる、折り重ねるように配置する方法に変更することで隙間を極力なくし、先代モデルよりバッテリー寸法やモジュール数を変更することなくエネルギー密度の向上を可能としたことでバッテリー容量が増加しています。また、同時にセル内の化学物質の配合を変更し、更なるエネルギー密度の向上をおこなっています。

充電性能においては、両モデル共通して 150kW までの急速充電に対応することにより、ユーザーに高い利便性を提供するとともに、アウディ ジャパンがポルシェ ジャパン、フォルクスワーゲン ジャパン

と事業展開している Premium Charging Alliance (PCA) のサービスや、アウディ e-tron 店が設置を進めている 150kW 急速充電器の利便性を享受できるようになります。例えば 55 e-tron quattro の場合、150kW 急速充電器を使用すると、10%から 80%までが 34 分で充電可能（理論値）※となります。

※2023 年 3 月 3 日追記：実際の充電環境や使用状況により充電時間は変動します。

最新のエクステリアとブランドデザイン、リサイクル素材の採用

Audi Q8 e-tron/ Sportback e-tron 両モデルともに、ひとめでアウディの電気自動車 e-tron とわかる開口の少ないシングルフレームグリルを、ブラックのマスクで囲む新しいフロントデザインを採用。新しいコーポレートアイデンティティとして、エクステリアに採用された 2 次元デザインのアウディのフォーリングスや、B ピラーにモデル名を記しました。

パーツには、ペットボトル由来のリサイクル原料等を使用するダイナミカを素材とするシートや、自動車の混合プラスチック廃棄物を革新的なプロセスにより再利用したシートベルトバックルカバーを採用することで、環境にも細かい配慮を行なっています。このシートベルトバックルカバーはアウディが安全関連コンポーネントに初めて採用するリサイクル素材となります。Audi Q8 e-tron にこれらの素材を使用することで、コンポーネントに使用される資源の量を削減し、効率的かつ持続可能な循環型社会の実現を目指しています。

アウディの電動化戦略

これまでにドイツ本社 AUDI AG は、電動化戦略 Vorsprung 2030 で、明確なロードマップを策定しており、2026 年以降に新たに発表するニューモデルは全て電気自動車とし、2033 年以降は全モデルの販売を電気自動車とする計画を発表しています*。また、車両生産工場のカーボンニュートラル化を同時に進めており、2025 年までに全てのアウディの工場をカーボンニュートラルにすることを計画しています。Audi Q8 e-tron が生産されるベルギーのブリュッセル工場では、既に工場で使用する電力を 2012 年にグリーン電力に切り替えており、工場敷地内に地域最大級の太陽光発電システムを設置することで、持続可能なエネルギーを供給しています。日本でも、お客様が電気自動車を検討しやすい環境作りを行うため、2023 年は全国のアウディ e-tron 店に既に設置されている 50 基の 50kW-90kW 急速充電器を 150kW 急速充電器に置き換え、150kW 急速充電器を全国合計で 102 基にすることで急速充電ネットワークを更に拡大します。

*中国を除きます。

Audi Q8 e-tron Roadshow を開催

今年夏以降の発売に先駆けて、3 月 4 日より東京・大阪を起点として、Audi Q8 e-tron Roadshow を開催いたします。このイベントのために、日本仕様に先駆けて欧州仕様を空輸。いち早く Audi Q8 e-tron/ Sportback e-tron をご覧いただける機会となっております。

開催場所など詳しい情報は下記をご参照下さい。

https://www.audi.jp/e-tron/special/q8_e-tron_roadshow/

モデル	電気モーター	バッテリー容量	駆動方式	ステアリング	車両本体価格 (税込)
Audi Q8 50 e-tron quattro S line	電気モーター×2 250kW/664Nm	95kWh	quattro	右	10,990,000 円
Audi Q8 55 e-tron quattro S line	電気モーター×2 300kW/664Nm	114kWh	quattro	右	12,750,000 円

Audi Q8 Sportback 55 e-tron quattro S line	電気モーター*2 300kW/664Nm	114kWh	quattro	右	13,170,000 円
---	-------------------------	--------	---------	---	--------------

*S モデルは、第4 四半期以降発表予定です。